

前立腺生検～入院診療計画書～

患者ID		患者氏名		生年月日		病棟		病名	
日付	検査当日 (1/1)						(1/2)		
目標	・検査スケジュールを言える・検査後痛みのコントロールができる						・退院後の生活を理解できる		
	検査前			検査後			検査後1日目(退院)		
食事	(午前の検査) 食事・水分のすべて中止 (午後の検査) 朝食可・昼食は検査に時間によって変更			・検査終了2時間後から水分可 ・検査終了3時間後気分不良がなければ食事可能 (主治医の最終確認が必要)			 ・食後の制限はありません ・飲水は積極的に摂って下さい		
安静度	・検査30分前に排尿を済ませてお待ちください ・検査着の着用後はお部屋でお待ちください			・検査後は麻酔の副作用が出ないように頭を低くして2時間はベッド上安静です(寝返りは可)			・朝より歩行可能です 		
清潔	検査午前→不可 検査午後→午前中にシャワー浴可						・シャワー浴可 		
点滴内服処置	・血圧・脈拍・体温測定を行います ・中止薬以外の内服はお飲みください ・朝より浣腸を行います ・朝より点滴を行います 			・血圧・脈拍・体温測定を行います ・点滴は持続的に行います ・検査後から尿へ管が留置される事があります(翌日まで持続的に行います) ・内服薬は中止薬以外は水分開始後より服用再開となります 			・血圧・脈拍・体温測定を行います ・尿道に管が入っている場合は朝7時に管を抜きます ・朝の抗生剤の投与が終了後に点滴を抜針します 		
説明指導	・家族の方は検査の1時間前までには来院してください ・検査後管理の目的で部屋が変わることもあります ・貴重品は家族の方が管理してください ・手術室に入室する前に入れ歯やメガネ装飾品は外してください ・内服薬(のまれているすべての薬) ☆当院以外で処方されている内服薬は入院後は当院の内服に切り替わります 			・腰より麻酔を行っ他場合は下半身に力が入りにくくなっています。徐々に良くなっていきますが改善の見られない場合はお知らせ下さい ・尿へ管が留置された場合は違和感があります。痛みが強い場合や下腹部の張りが強い場合にはお知らせ下さい ・尿道へ入っている管より流れ出た尿をバック内にためています。血尿がみられますが徐々にうすくなってきます			・管を抜去後、尿が出にくかったり、排出時に痛みが生じ持続する場合は申し出下さい。状況に応じて痛み止めを使用します ・退院は10～11時までには請求書が病室へ届きます ・退院後に排尿困難・下腹部のは張り・血尿が続く様であれば病院受診をして下さい 		

・特別な栄養管理の必要性: 有 無

・その他(看護、リハビリテーション、薬剤等の計画看護計画上記参照

処方薬(内服・注射)について、薬効の説明および効果や副作用のチェックを行います。

薬剤師署名: _____

注1) 病名は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わらうものである。

注2) 入院期間については、現時点で予測されるものである。

注3) あなたは説明を受け、最終的な自己決定をする権利があります。また、他の医師の説明や意見を求める権利(セカンドオピニオン)もあります。

上記計画を主治医または看護師より納得いくまで説明を受け内容を承知し同意します。

西暦 年 月 日

患者署名: _____

代理人署名: _____

主治医署名: _____

担当看護師署名 _____

